

2019
3.16

地域おこし協力隊 活動報告会

市文化センター小ホールで、地域おこし協力隊活動報告会が開催されました。4人の協力隊のうち、平成31年3月末日で第1期生3人の任期が終了しました。間瀬邦生隊員、松原枝里隊員は退任後も引き続き市内に居住し、それぞれの分野で活躍しています。

また、4月1日に新たに3人の隊員が着任し、三次真一郎市長から委嘱状が交付されました。

隊員の報告



岩崎 文香 隊員

1年目は「地域を知る」、2年目は「歴史を調べることで地域をより深く知る」、3年目は「市外の人に常陸大宮市を知ってもらう」をテーマに活動を行いました。2年目以降は、イベントで配布するチラシや移住相談会で配布するミニパンフレットの作成など、SNS以外でのPR活動も積極的に行いました。

私を感じた常陸大宮市の魅力は、季節の移ろいを身近に感じることができることです。例えば、直売所で干しいもが並んでいるところを見かけると、本格的な冬の訪れを感じることができます。冬に帰省する際には、必ず購入し持ち帰るのですが、さつまいもの甘さとそのねっとり感は、家族や友人に大好評です。さまざまな旬の物を見たり買っ

たりすることで、周りから季節のものを聞かれると、すぐに答えられるようになりました。

3年間の活動の中で、都会と地方を行き来する生活が定着しました。退任後は出身地である東京に戻り、今後は「関係人口」として常陸大宮市に関りたいと思います。その一環として、御前山・那珂川地域案内人の認定を受けました。地域の案内を円滑に行えるためにも、月に一度は常陸大宮市を訪れ、旅人に近い目線での紹介ができるよう努めていきます。

3年間大変お世話になりました。これからもよろしくお願いします。



間瀬 邦生 隊員

協力隊最終年度は、サツマイモの栽培から干しいもの生産・試験販売まで行うことができました。また、民泊宿も開業することができました。そんな中で、感じたことが3つあります。

1つ、やる気と決心があればうまくいくということ。干しいも作りに関して自分一人では解決できないことが多くありました。サツマイモの栽培も、干し場のビニールハウス組み立ても、美味しい干しいもの作り方も、知識も経験もありませんでした。周囲の方々に広く協力をお願いしたところ、すべて教えてくれて、完成までたどり着くことができました。決心して強い意志をもって進むことが大事だと感じました。

2つ、ちょっとした誘いで人を呼び込めるということ。私は山方地域から緒川地域に引っ越しましたが、その理由は「農業やらない?」「夕飯食べていかない?」と誘われることが多かったからです。どこの地域が良いとか吟味したわけでもなく、ちょっとした一言だけで人の心は動くものです。

3つ、ちょっとした一歩を踏み出すことで未来は変えられるということ。干しいも作りは山方の盛金地区で行っています。私と盛金の出会いのきっかけは「教育旅行の受け入れ」を盛金で行っていたからです。私は教育旅行を行っている自治体で地域おこし協力隊を探していました。そんな私を常陸大宮市に導いたのは、盛金の教育旅行の実績があったからこそ。その結果、干しいも作りという新たな動きも生まれました。何かを始めたいという一歩が、未来を変えたのではないのでしょうか。

これからもどうぞよろしくお願いします。



松原 枝里 隊員

協力隊として活動してきた3年間を振り返ると、本当にたくさんの人と出会い、さまざまな経験をさせていただきました。知り合いもおらず訪れたこともなかった常陸大宮市でここまでやって来られたのは、ひとえに地域の方々が優しく迎え入れてくださり、支えてくださったおかげだと思っています。本当にありがとうございました。

協力隊の任期は終わりますが、今後も常陸大宮市に残り3年間で企画した「長倉七夕まつり国際ワークキャンプ」や「えびらのワークショップ」、長倉で和綿を育ててはんでんを作る「ほわもく」を継続させていきます。さらに、若者が移住しやすいよう空き家の改修技術を教えるスクールの開校や自身の夢だった服のデザイナーになること

を目指し、今の自分にできることを精一杯取り組んでいきます。これらの活動をさまざまな人と共同で企画していき、若者が自分で仕事を作れる仕組みを作り、ゆくゆくは現在の住まいをモノづくりや手仕事を生業としたい若者が集まるシェアハウスにすることが大きな目標です。

3年間地域の皆さんに頂いたご恩を、これから常陸大宮市に住む若者を増やしていくことで少しずつ返していきたいと思っています。3年間本当にありがとうございました。そして、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



松原 功 隊員

常陸大宮市の多くの方に知って頂くことを目標に、「森づくり」と「狩猟」について取り組みました。「森づくり」については、諸沢地区での「皮むき間伐」を中心とした森づくりの取り組みや山方林業研究会での活動に参加しました。今年度は、より多くの人に森林を身近に感じてもらう取り組みを行っていきます。

また、「狩猟」については、箱わなで利用できるIoT装置アイオーティの作製や私の考える安全性を重視した狩猟についてなどの検討を行ってきました。狩猟への興味や関心を増加させることやイノシシと人間がうまく生きることができないかなど、模索しながら今年度も狩猟に携わります。

日頃より、「何事もまずは自分が楽しみ、夢中になること」を胸に秘めて活動を行っていますが、今後は「自分も楽しみ、周りも楽しい」ことを実践できる活動をします。そしてこれからも常陸大宮市で活動し続けられるよう、人との関係性づくりや技術を磨いていきたいと思えます。多くの方に支えられて過ごした1年。改めて感謝の気持ちを申し上げるとともに、引き続き温かい目で見守って頂けると幸いです。

地域おこし協力隊新メンバーです！ よろしくお願ひします！



▲岡田 綾羽さん



▲古澤 宏明さん



▲徳永 涼さん